

# 西洋の美と和の融合

# 黒木国昭ガラス芸術展

日本の装飾美 琳派  
400年の時を超えて  
いま ガラスで蘇る...

2017年秋、パルクアベニューカワトクでは日本の伝統美をガラスで表現し、ガラスの聖地ヴェネチアをはじめ、世界で活躍するガラス工芸作家の黒木国昭先生の展覧会を開催いたします。華やかな琳派の世界を燦爛と映し出した「光琳」をはじめ独自の美意識を追求し、挑んだ多彩なガラスの世界を一堂にご覧頂きます。

■会期：10月19日(木)～24日(火)  
■会場：7F／催事場 ※最終日午後5時終了

主催：岩手日報社  
後援：岩手県・盛岡市・IBC岩手放送・テレビ岩手・めんこいテレビ・岩手朝日テレビ・エフエム岩手・岩手ケーブルテレビジョン

**KAWA TO KU**  
川徳 盛岡市菜園1丁目10番1号  
電話(019)651-1111(代表)

花器 プラチナ象嵌「光琳」  
高さ38.4×径36cm



花器 プラチナ象嵌  
ヴェネチアレース  
「夢光琳」  
高さ49.8×幅22.2×奥行22.3cm

## 光琳 KOURIN

江戸時代の「琳派」の世界を広くとらえ、西洋の素材であるガラスに日本の伝統美である蒔絵を表現。金箔、プラチナを散らしたガラスにミルフィオリを象嵌した「光琳」は黒木国昭の代名詞ともいわれています。



花器 金・プラチナ象嵌「光琳」  
高さ49.6×径31cm



花器 金・プラチナ象嵌「光琳」  
高さ16.2×幅21.7×奥行14.4cm



新世紀ロマン  
花器 金・プラチナ彩  
～元和の女神～「天昇龍」  
高さ44.8×径28.3cm



屏風 二曲一隻 俵屋宗達画 琳派「風神雷神」  
高さ130×幅160×奥行3cm、フレーム：本漆



浮き彫り灯 世界遺産「富士山」  
高さ67.5×径37.5cm



ガラス工芸作家  
国の「現代の名工」  
黒木国昭

### Profile

- 1945 宮崎県に生まれる
- 1989 グラスアート宮崎綾工房創設
- 1991 国の卓越技能者「現代の名工」受賞
- 1994 国際芸術文化賞受賞
- 1995 フランス・パリ平和芸術祭大賞受賞
- 1996 イタリア・ローマ国際美術博覧会ローマ大賞受賞
- 1998 ギリシャ・アテネエキスポ'98グランプリ政府大賞受賞
- ロシア・日露現代芸術祭(トレチヤコフ美術館)
- モスクワ市長賞受賞
- 黄綬褒章受章
- 2006 NHKグループ主催「琳派と広重 東海道五拾三次の展開」展開催
- 2006～09 国内：宮崎県立美術館・東京高島屋・大阪阪急百貨店・名古屋松坂屋・福岡岩田屋・新潟大和  
海外：イタリア国立カ・ヘーザロ博物館(ヴェネチア)
- 2013 台湾国立歴史博物館にて「日本台湾国際芸術文化交流展」開催
- 2013～ ガラス創作50年展/古希記念展 国内主要都市にて開催
- 2016 ドバイ(UAE)にて「日本ガラス芸術文化交流展」開催